

県民の願い、要求、怒り、すべてを田中耕太郎へ 投票箱のフタがしまるまで、行動参加者を広げに広げ、 最大規模の棄権防止活動で勝利をかちとろう！



変えよう! 兵庫県
田中耕太郎サポーター ニュース



JR住吉駅前、
要求プラスタを
掲げ宣伝・対話



選挙戦最終日の20日(土)、田中候補は、神戸市内を駆け抜け、地元明石市で最後の訴えを行いました。
各地でオレンジのビブス、マフラーを身につけたサポーターが宣伝・街頭での対話に大奮闘しました。

20日神戸市内を駆け抜け 地元明石で最後の訴え



棄権防止活動に全力を

「原発再稼働ノー」「憲法生かし県民の暮らしを守れ」という田中候補の訴えに、支持と共感が広がるも、投票日を迎えます。投票箱のフタがしまるまでのがんばりが、大きなカギです。

投票日の棄権防止(お礼の声かけ)は、公職選挙法上、自由にできる活動です。支持を約束してくれた人、加入団体構成員で声をかけ残した人をはじめ、多くに有権者のみなさんに、電話やメールも使って声をかけましょう。

それぞれの事務所に集まって、ティータイム、ランチタイム、おやつタイムなど、休憩しながら、楽しく交流してすすめましょう。

「県政の会」も、棄権防止活動のニュースを発行します。ぜひ、みなさんの経験を事務所にお寄せください。

事務所FAX 078(578)1366



兵庫区湊川では、多くの年金者組合の方の支援を受けて

兵庫県知事選挙は21日、投票日を迎えます。
立候補表明から3カ月。田中耕太郎候補と「会」が訴えてきた「3つの転換」「経済再建は地域から」「人にやさしい県政へ」「平和と安全を守る県政」の呼びかけが届いたところでは、大きな共感が広がっています。
最後まで、兵庫県政に対する願い、要求、怒りをあまさず汲み尽くすため、対話・宣伝に全力をあげましょう。

2013年7月20日 16時発行 第18号
兵庫・憲法県政の会

(部内資料)